

ふたばこども園

園 便 り 7 月 号

令和6年7月1日発行

文 責 園 長 納 富 博 文

ふたばっ子



あ さ が お

一学期も残すところあとわずかとなりました

沖縄地方が梅雨明けをし梅雨前線の北上とともに北部九州も雨の日が続くようになりました。これから本格的な梅雨となり、大雨と蒸し暑い日続きそうです。今年も豪雨がなく、大きな災害がないことを祈るばかりです。

さて、早いもので一学期も残すところ20日を切りました。園では19日に一学期の終わりの日となり、1号園児は夏休みに入ります。

まだまだ新型コロナウイルス感染症や手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎などの感染症が流行っています。また、今年の夏は今まで以上に高温多湿になると予報が出ています。この夏、感染症や熱中症、水の事故などに気をつけて、健康で、おもいっきり夏本番を楽しんで欲しいと思います。

旭学園通り東側駐車場について

旭学園通り東側駐車場は、でこぼこの状態が続いていて大変ご迷惑をおかけしています。実は、この土地の所有者及び管理者は佐賀女子高校です。園の行事のたびに借用のお願いをして、利用させていただいています。また、園児の送迎等での通行や駐車については、暗黙の了解として利用させていただいています。そのため、園が勝手に土地の補修やアスファルト整備を行うことはできません。これまで使用頻度が一番多い園が、補修の伺いを立て、年2回（予算上）の補修を行っています。1回の補修で30～50万円もかかります。保護者の皆様もこうした状況をご理解ください。

送迎の際は最徐行の運転をしていただき、安全に気をつけてください。また、できるだけ地面が荒れないようにお願いします。今後、梅雨明けに1回目の補修、整備を行う予定です。

今年の“ふたばまつり(なつまつり)”は

7月10日はふたばまつりです。今年のふたばまつりは、これまでとはちょっと違うようです。

これまでは、おみこしありきで、おみこしを工夫して作り、担いで回るおまつりでした。おみこしを作ることに工夫する場面はありましたが、どちらかというと毎年変化のない、先生主導の取り組みでした。

でも、今年は年長組が主役となり、年中組以下のみんなを楽しませるまつりにしたいという考えが、子どもたちから出てきました。自分たちで作り、自分たちや小さいお友達も楽しめるまつりにしたいと、いろいろ話し合ったり、制作したりしています。そこには、自主性や創造力、協力する力など、ふたばの教育・保育が大切にする力がいっぱい培われていると思います。ふたばまつりをするまでの過程を見てみると頼もしく、わくわくします。どんなふたばまつりが展開されるか楽しみです。年長さんの準備の様子を紹介します。



何を作っているのでしょうか。真剣な顔つきがすごいですね。



屋台を作っているのかな。さて何のお店でしょうか。



呼び込みのリハーサルの様子です。どんな呼び込みを工夫しているのでしょうかね。



何のお店でしょう。売る役の子どもは、店員になりきっているのが面白いですね。

思いもよらないところでの水難事故（危険予知と防止）

毎年、この時期になると、子どもが川に流され亡くなるという悲しい事故が起こっています。調査によれば、水難事故は7～8月の約2カ月間で、年間事故件数の約50～60%が発生しているそうです。

園の横に小さな川（溝）が南北に流れています。川の虫や植物に興味があるからだと思いますが、降園時に、柵を乗り越え、川の土手に入っているのを見かけます。川の水は浅く流されるという感じではありませんがとても心配になります。特に、柵を乗り越えるときに誤って溝に落ちないかとハラハラです。一歩間違えば命を落としかねません。ご家庭で水辺のどんな所にどんな危険が潜んでいるかを話し合ってみてください。また、川や水辺での遊び方も併せてご指導ください。